



持続型社会構築のビジョン

「里地・里山と豊かな暮らし」…イーブニングセミナー

人間は地球上の約500万種の生物のなかの一つの種にしか過ぎず、その人間の営みは多くの生物生態系サービスに支えられてきました。しかし現在、世界は人口の爆発的増加、産業社会の大量生産などにより、多くの資源やエネルギーを消費し、その結果、地球温暖化、資源の枯渇化、生態系の劣化を引き起こしています。人間が生きてゆくための必須基盤である地球生態系を守りながら、エネルギーや物質の流れを自然界の流れに近づけていくことが必要であり、そのためには人間と自然との望ましい関係を現代社会にあったかたちで再構築せねばなりません。

その再構築への道筋は、エネルギー・資源・生態系の調和による「低炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の3社会像を融合した持続型社会・地域づくりにあると、私たちは考えています。

日本は森林面積が66%という世界有数の森林大国です。この富を有する国土の経営は重要な仕事となります。私たちは、人間以外の動植物や微生物の存在と人間の暮らしの関係性をじっくり考えてみたいと思います。そして、生物が多く生息する里地・里山と呼ばれる場と人間の暮らしの場との良好なあり方について語りしたいと思います。今年、10月に名古屋市において生物多様性条約第10回締約会議(COP10)が開催され、また国連の定める国際生物多様性年のクロージングセレモニーが、ご当地の石川県金沢市で開催されます。

石川県民、金沢市民の皆様、企業人の方々と一緒に、この地域の重要な資産である里海を含む里地・里山の再生を通じての持続可能で安全・安心な社会のあり方について対話できれば幸いです。

主催 一般社団法人サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム (SSC)

共催 国際連合大学サステナビリティと平和研究所

東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)

後援 北陸経済連合会、石川県商工会議所連合会、石川県商工会連合会、北國銀行
会宝産業㈱

日 時 2010年12月17日(金曜日) 18時40分から20時40分

会 場 ITビジネスプラザ武蔵 6階 講演会場

〒920-0855 石川県金沢市武蔵町14番31号

めいてつ・エムザ・武蔵スタジオ通り エレベータ6F 金沢駅東口より徒歩10分

TEL(076)224-6340 URL://www.bp-musashi.jp/

定 員 100名(定員に達し次第締め切らせていただきます。)

参加費 無料

プログラム

18時40分 開会挨拶

18時45分 講演 「里地・里山と豊かな暮らし」

武内和彦（国連大学副学長、東京大学教授・IR3S副機構長、SSC理事）

19時50分 市民の皆様との対話

20時35分 閉会挨拶

講演者紹介

武内 和彦（たけうちかずひこ）

1974年東京大学理学部地理学科卒業、1976年同大学院農学系研究科修士課程修了。東京都立大学助手、東京大学農学部助教授、同アジア生物資源環境研究センター教授を経て、1997年より同大学院農学生命科学研究科教授。2005年より東京大学サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長、2008年より国際連合大学(UNU)副学長、2009年より同サステナビリティと平和研究所(UNU-ISP)所長を併任。日本造園学会会長、中央環境審議会委員、食料・農業・農村政策審議会委員などを兼任。一般社団法人 サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム 理事。

専門は、緑地環境学、地域生態学、サステナビリティ学。人と自然の望ましい関係の再構築を目指して、アジア・アフリカを主対象に研究教育活動を展開している。最近では、持続型社会の構築を目指す俯瞰的な科学としてのサステナビリティ学的世界的な拠点形成に向けて奔走している。また、日本の里地里山の再生を目指すとともに、伝統的な土地利用の再構築に向けた世界の多様な取り組みとの連携を目指す SATOYAMA イニシアティブにも深く関与している。最近の著作には、「地球持続学のすすめ」（岩波ジュニア新書、2007年）、「生態系と自然共生社会」（共編著、東京大学出版会、2010年）などがある。

☆参加申し込み先（先着順締め切りとし、下記要領でお申し込みください）

一般社団法人 サステナビリティ・サイエンス・コンソーシアム（SSC）

〒102-0075 東京都千代田区三番町 24 番 25 号三番町TYプラザ3階

E-mail: info@ssc-g.net （またはFAX: 03-5841-1545）

お名前	
所属	
肩書き	
ご連絡先	
電話	
E-mailアドレス	